

# 自動車地球温暖化対策実施方針

## 《 1 大規模荷主 》

事業者名	ブリヂストンサイクル株式会社	事業所名	本社・上尾工場				
取組措置		具体的取組措置			R3	R4	R5
01	荷主の物流部門における二酸化炭素排出量の把握 ----- ( 02 ) 貨物輸送事業者及び自社関連部門との情報共有及び改善のための取組実施	・定期的に配送協力会社代表者会議を開催し、配送品質向上と配送効率化及び今後の輸配送動向に関する情報共有を実施する。			○	○	○
02	環境に配慮している貨物輸送事業者の選定 ----- ( 02 ) 貨物輸送事業者の環境配慮の確認	・ISO14001などの取得を確認し、取得していない場合は、取得を推進する。			○	○	○
03	物流拠点の活用による輸配送の効率化 ----- ( )	・マルチテナント型の物流拠点を活用した輸配送効率化を実施する。			○	○	○
04	積載率の向上による輸配送の効率化 ----- ( 01 ) 商品・荷姿・梱包資材の形状の標準化や軽量化等による積載率の向上	・完成車は外装箱の形状を標準化し、幹線便については90%以上の積載率を保持している。また一部、外装箱に入っていない商品は、専用ラックを活用による段積み輸送による積載率の向上を実施する。			○	○	○
04	積載率の向上による輸配送の効率化 ----- ( 02 ) 混載便の利用や共同輸配送の取組	混載便利用の取組			○	○	○
04	積載率の向上による輸配送の効率化 ----- ( 03 ) 輸送量及び積載率を考慮した適正車種での発注	・配送エリア、配送物量に応じ、最適な配送モードを実現するため、配車システムを導入し、最適な配車車両数／車両サイズ選定をしている。			○	○	○

## 自動車地球温暖化対策実施方針

05 計画的な貨物輸送による輸配送の効率化 ( 01 ) 発注時間及び配送時間のルール化	・日々の受注、出荷において、発注、出荷時間をルール化している。	○	○	○
05 計画的な貨物輸送による輸配送の効率化 ( 03 ) 輸送車両の待ち時間の削減	・日々の受注・出荷においては夕積と朝積の2つの分散をさせており、かつ配送エリア別に着車時間→積込時間→納品スケジュールを管理し待ち時間の削減に努めている。	○	○	○
06 その他輸配送の効率化により輸送距離及び回数を削減する取組 ( )	・配車システムの導入、マテハン(ラック)導入による積載率向上の取り組みを実施しており、輸送回数の削減に努めている。	○	○	○
07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進 ( 02 ) 貨物輸送事業者に対する、エコドライブの実施要請	夏季、冬季において車内空調停止によりドライバーへの身体的負担のある場合を除き荷捌中はエンジンを切り、アイドリングストップを徹底している。	○	○	○
07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進 ( 04 ) 周辺道路への路上駐停車及び構内アイドリング防止のための取組	・構内の駐車スペース状況をドライバーと連絡を取り合っている	○	○	○
08 サードパーティーロジスティクスの活用 ( )	・業務効率化を目的に3PLの活用を推進する。	○	○	○
09 共同輸配送も視野に入れたモーダルシフトの推進 ( )	・JRコンテナ輸送などを活用したモーダルシフトを推進。	○	○	○

# 自動車地球温暖化対策実施方針

10 ICTを活用した自動車排出温室効果ガスの削減 （ ）	配車システムを活用した計画的な貨物輸送の推進を行っている。	○	○	○
----------------------------------	-------------------------------	---	---	---